

平成 22 年度

決 算 説 明 資 料

株式会社 沖 縄 銀 行

【 目 次 】

		頁
I. 平成22年度決算ダイジェスト		
1. 損益の状況	単	1
2. 主要資産・負債の状況	単	2
3. 経費	単	5
4. 資産健全化の状況	単	6
5. 自己資本比率(国内基準)の状況	単・連	8
6. 業績予想	単・連	9
II. 平成22年度決算の概況		
1. 損益状況	単・連	10
2. 業務純益	単	12
3. 利鞘	単	12
4. 有価証券関係損益	単	13
5. 自己資本比率	単・連	13
6. ROE	単	14
III. 貸出金等の状況		
1. リスク管理債権の状況	単・連	15
2. 貸倒引当金等の状況	単・連	16
3. リスク管理債権に対する保全状況	単・連	16
4. 金融再生法開示債権	単・連	17
5. 金融再生法開示債権の保全状況	単・連	17
6. 引当率・保全率の状況	単・連	18
7. 自己査定結果及び債権分類(率)の状況	単	19
8. 自己査定結果と開示債権との関係	単	20
9. 業種別貸出の状況等	単	21
① 業種別貸出金	単	21
② 業種別リスク管理債権	単	21
③ 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高	単	22
④ 消費者ローン残高	単	23
⑤ 中小企業等貸出残高及び貸出比率	単	23
10. 信用保証協会保証付融資	単	23
11. 系列ノンバンク向け融資残高	単	23
12. 預金、貸出金の残高	単	23
13. 個人・法人預金の種類別内訳(平残)	単	24
IV. 業績予想等		
1. 平成23年度の業績予想	単	24
2. 人員と店舗の状況	単	24
3. 保有株式について	単	25
4. 不良債権について	単	25
(1) 処理損失	単	25
(2) 残高	単	25
(3) 最終処理と新規発生	単	26
(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率	単	26
(5) 不良債権比率	単	26

I. 平成22年度決算ダイジェスト

1. 損益の状況

➤ 概況

経常収益は、貸出金利回りの低下により貸出金利息が減少したものの、国債等債券売却益及び有価証券利息配当金が増加したことから、前年比5億61百万円増加の403億18百万円となりました。

コア業務純益は、貸出金利息の減少に加え、預金利息や経費の増加等から、前年比12億24百万円減少の101億23百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益の悪化及び不良債権処理額の増加等により前年比38億9百万円減少の95億19百万円となりました。また、当期純利益は、貸倒引当金戻入益の反動減及び資産除去債務に関する会計基準を適用したことに伴う影響額を特別損失に計上したことなどにより、前年比35億44百万円減少の50億50百万円となりました。(増収減益)

(単位:百万円)

	No.	22/3期	23/3期	
			実績	前年比
経常収益	1	39,757	40,318	561
業務粗利益	2	31,404	30,367	△1,036
資金利益	3	27,602	26,683	△919
役務取引等利益	4	1,570	1,762	191
うち信託勘定不良債権処理額	5	-	53	53
その他業務利益	6	2,230	1,921	△309
うち国債等債券損益	7	1,996	1,715	△280
経費(除く臨時処理分)	8	18,059	18,582	522
うち人件費	9	8,947	9,161	214
うち物件費	10	8,122	8,484	361
コア業務純益(A)	11	11,347	10,123	△1,224
一般貸倒引当金繰入額	12	-	△226	△226
業務純益(B)	13	13,344	12,011	△1,333
臨時損益	14	△14	△2,491	△2,476
うち株式等関係損益	15	210	△397	△608
うち不良債権処理額(臨時費用)	16	528	1,806	1,277
経常利益	17	13,329	9,519	△3,809
特別損益	18	521	△55	△577
うち不良債権処理額(戻入益)	19	513	79	△433
当期純利益	20	8,595	5,050	△3,544

(注)不良債権処理額は、No.16不良債権処理額(臨時費用)へNo.5うち信託勘定不良債権処理額を加え、No.19不良債権処理額(戻入益)を差し引いた17億80百万円となります。

《用語説明》

(A)コア業務純益

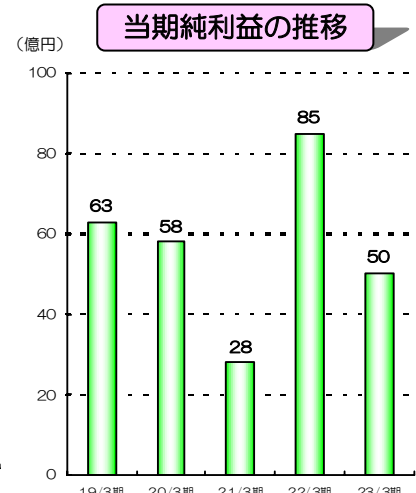
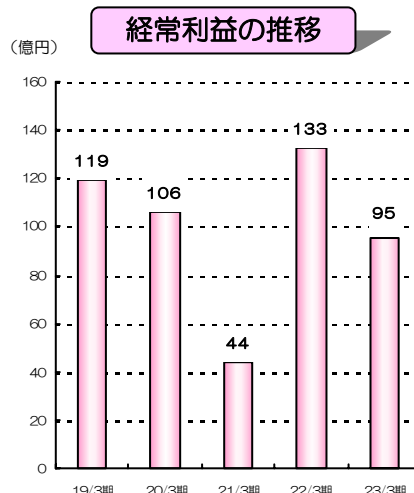
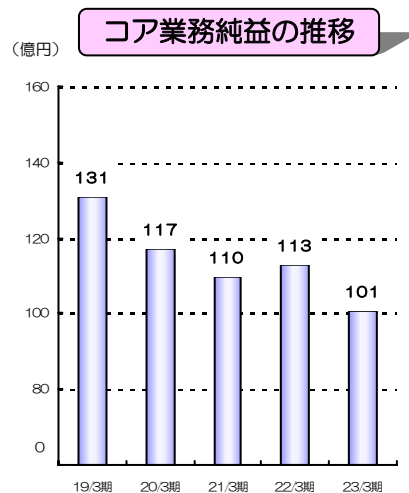
【算式】No.(2+5-7-8)

一般貸倒引当金繰入額、信託勘定不良債権処理額、国債等債券損益を含まない本業の利益を表す利益

(B)業務純益

【算式】No.(2-8-12)

一般企業の営業利益に相当する利益



2. 主要資産・負債の状況(単体)

(1) 貸出金

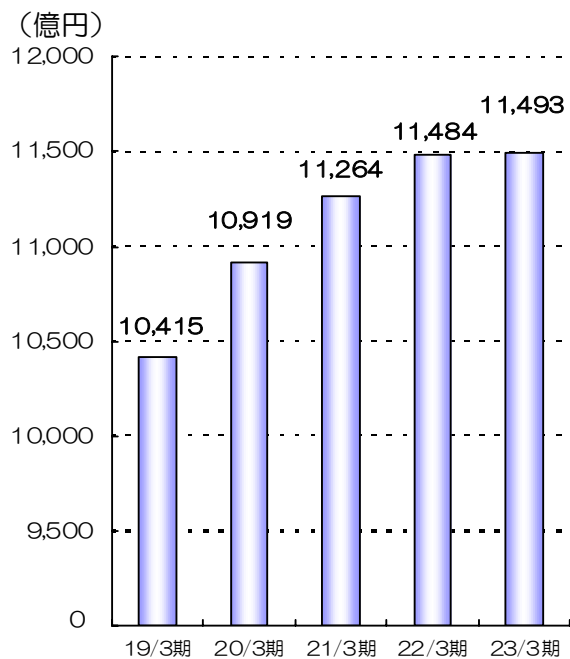
➤ 概況(前年度比較)

貸出金は、運転資金や設備資金の需要の減少により事業性貸出等が減少したものの、ローンFPステーションを中心とした営業強化により、住宅ローン及び各種個人ローンが堅調に増加したことから、銀行・信託勘定合計で、前年比8億円増加の1兆1,493億円となりました。

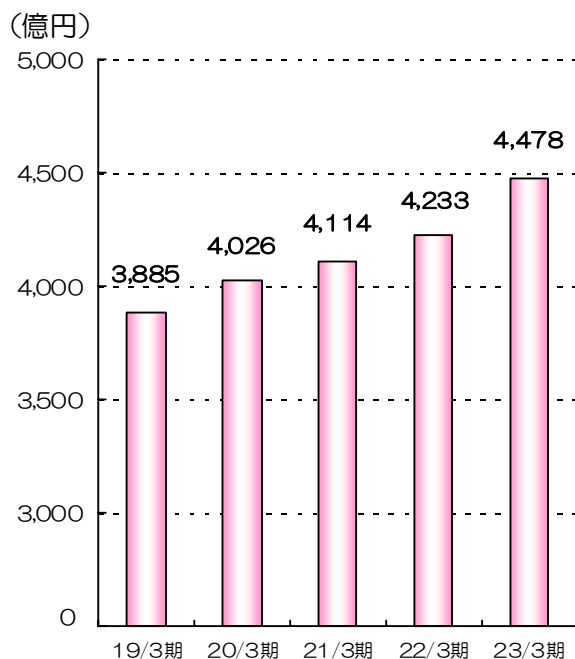
	22/3	23/3	
		実績	増減
【期末残高】			
貸出金(期末残高)	11,484	11,493	8
事業性貸出	6,007	5,854	△153
消費者ローン	4,233	4,478	245
住宅ローン	3,658	3,883	224
国・地公体向け貸出	1,244	1,160	△84
貸出金(平均残高)	11,131	11,092	△38

(注) 信託勘定を含んでおります。

総融資量(期末残高)の推移



消費者ローン(期末残高)の推移



(2) 預金

➤ 概況(前年度比較)

預金は、個人預金キャンペーンにおいて、「大口定期預金」「ATMで定期」「金銭信託『HAPPY NEW MONEYキャンペーン』」「懸賞金付定期預金(Let's定期)」等を主力商品として個人預金の増強に努めたほか、法人預金についても「SR(ストロングリレーション)活動」に注力し、資金トレースに努めた結果、銀行・信託勘定合計で前年比1,289億円増加の1兆5,928億円となりました。

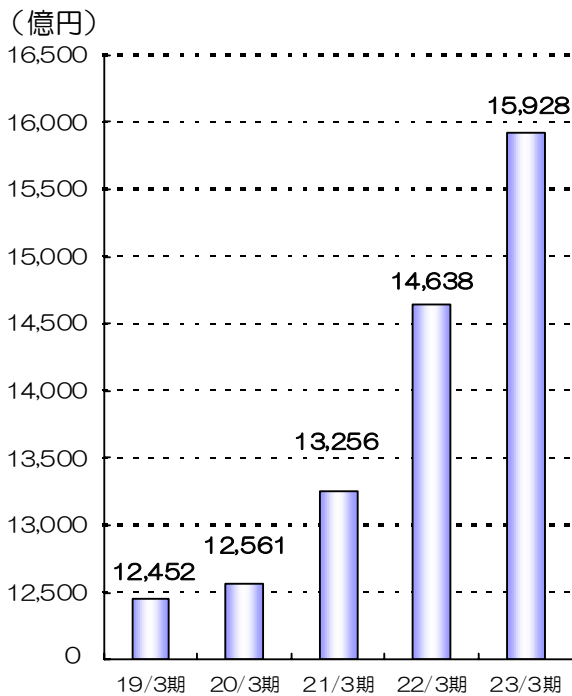
【期末残高】

(単位：億円)

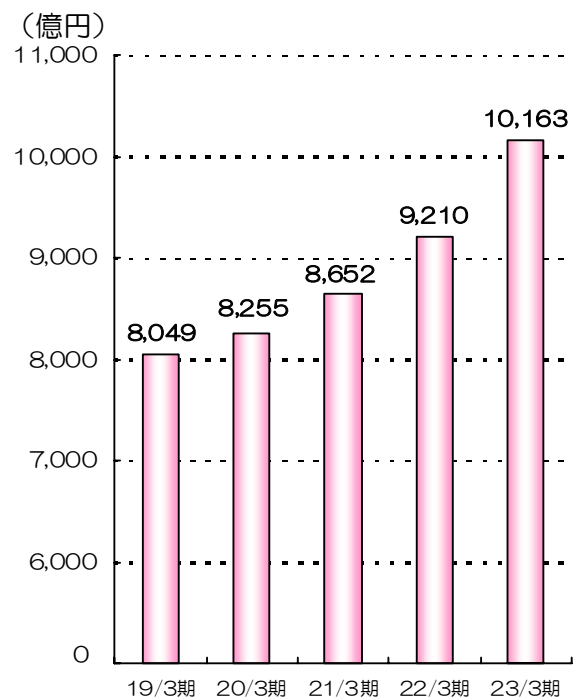
	22/3期	23/3期	
		実績	増減
預金(期末残高)	14,638	15,928	1,289
個人	9,210	10,163	953
法人	3,990	4,347	357
金融	311	264	△46
公金	1,126	1,151	25
預金(平均残高)	14,001	15,123	1,121

(注)信託勘定を含んでおります。

総資金量(期末残高)の推移



個人預金(期末残高)の推移



(3) 有価証券

➤ 概 況 (前年度比較)

国債、地方債など公共債を中心に資金の効率的運用と安定収益の確保に努めた結果、有価証券残高は前年比 930 億円増加の 4,466 億円となりました。有価証券全体の評価益は、株式市場の下落を主因に前年比 27 億円減少の 55 億円となりました。

【期末残高】

(単位：億円)

	22/3 期	23/3 期	
		実績	増減
有価証券	3,535	4,466	930
債券	3,122	4,055	933
株式	263	196	△67
その他	150	214	63

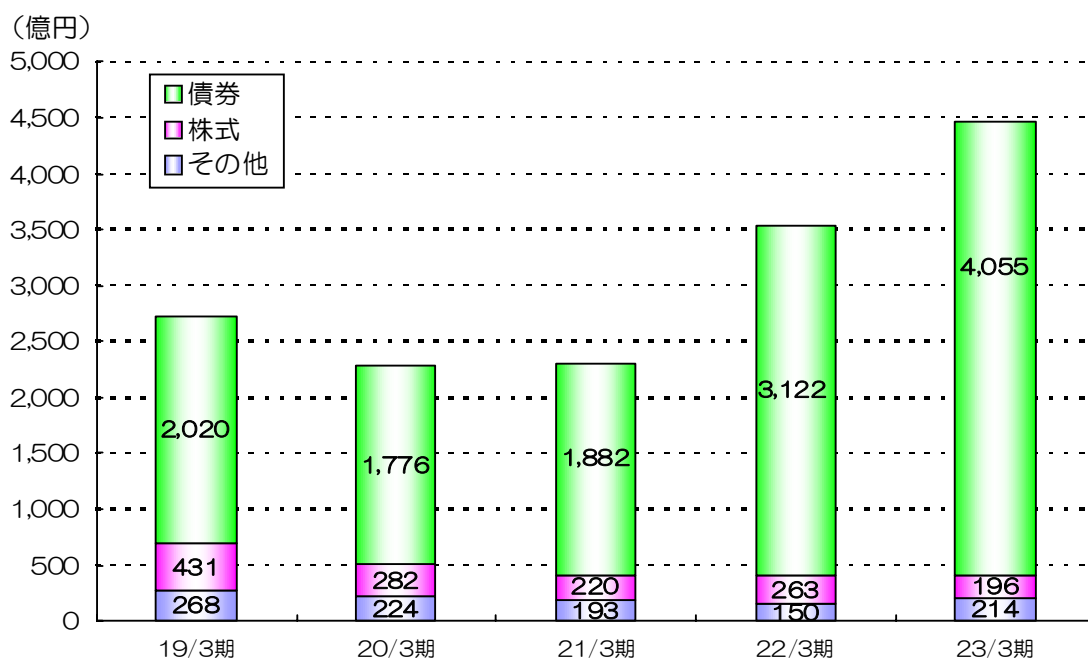
【評価損益】

(単位：億円)

	22/3 期	23/3 期	
		実績	増減
有価証券	83	55	△27
債券	53	51	△1
株式	30	6	△24
その他	△0	△2	△1

(注) その他には、外国証券、投資信託が含まれます。

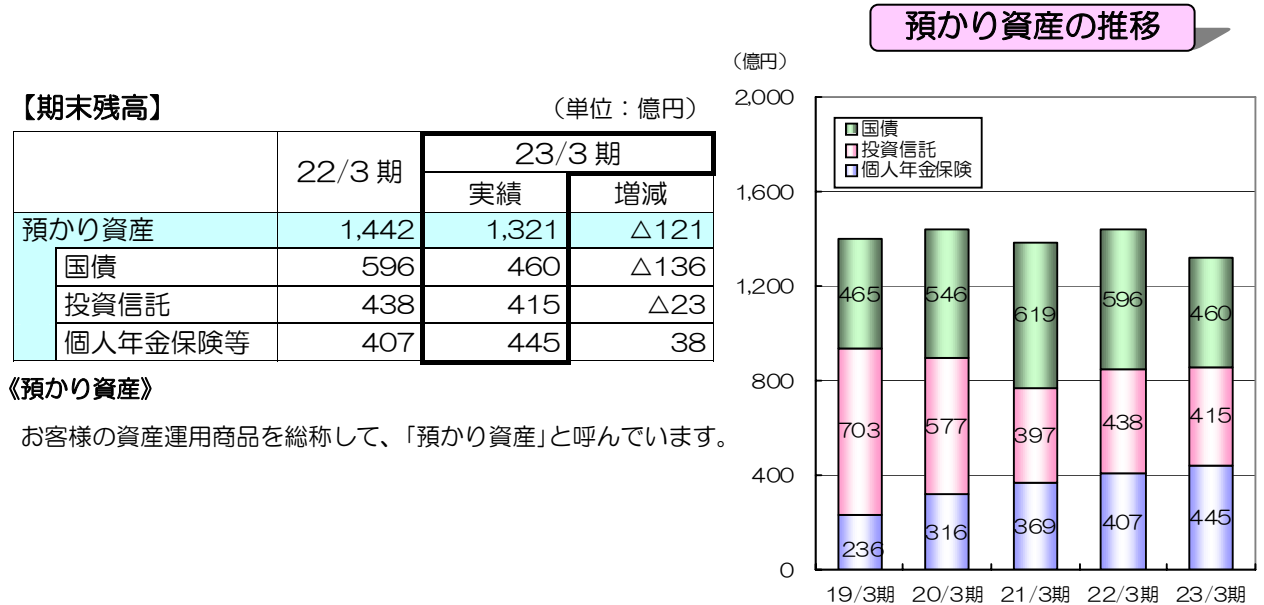
有価証券残高の推移



(4) 預かり資産

➤ 概況(前年度比較)

個人年金保険等は増加したものの、国債及び投資信託が減少したことから、預かり資産全体では前年比 121 億円減少の 1,321 億円となりました。

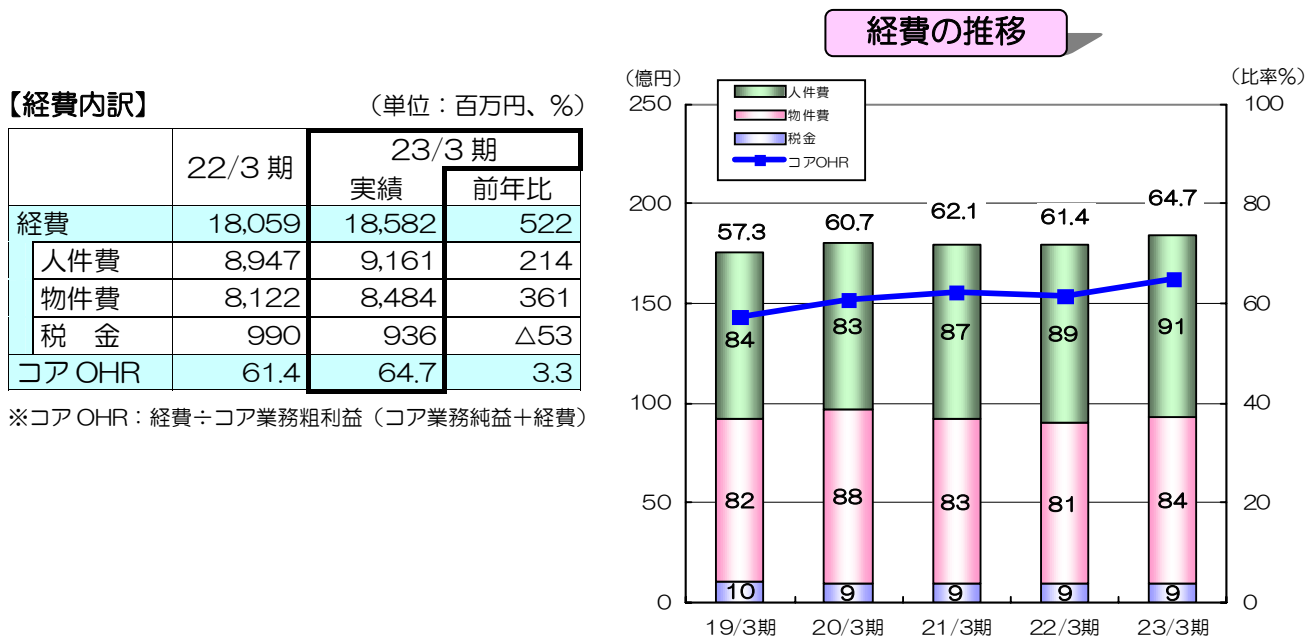


3. 経費(単体)

➤ 概況(前年度比較)

人件費は、定年再雇用制度によるパート職員の増加や、新株予約権の発行に伴い株式報酬費用を計上したことなどから、前年比 2 億 14 百万円増加の 91 億 61 百万円となりました。

物件費は、広告宣伝費や預金保険料の増加等から、前年比 3 億 61 百万円増加の 84 億 84 百万円となりました。経費効率を示すコア OHR は、経費の増加及びコア業務純益が減少したことにより、前年比 3.3 ポイント上昇の 64.7%となりました。



4. 資産健全化の状況

(1) 与信費用（前年度比較）

一般貸倒引当金繰入額は、貸倒実績率の低下により、前年比 3 億 14 百万円減少の△226 百万円となりました。

不良債権処理額は、大口先の債務者区分の悪化等により個別貸倒引当金繰入額が増加したことなどから、前年比 17 億 65 百万円増加の 17 億 80 百万円となりました。

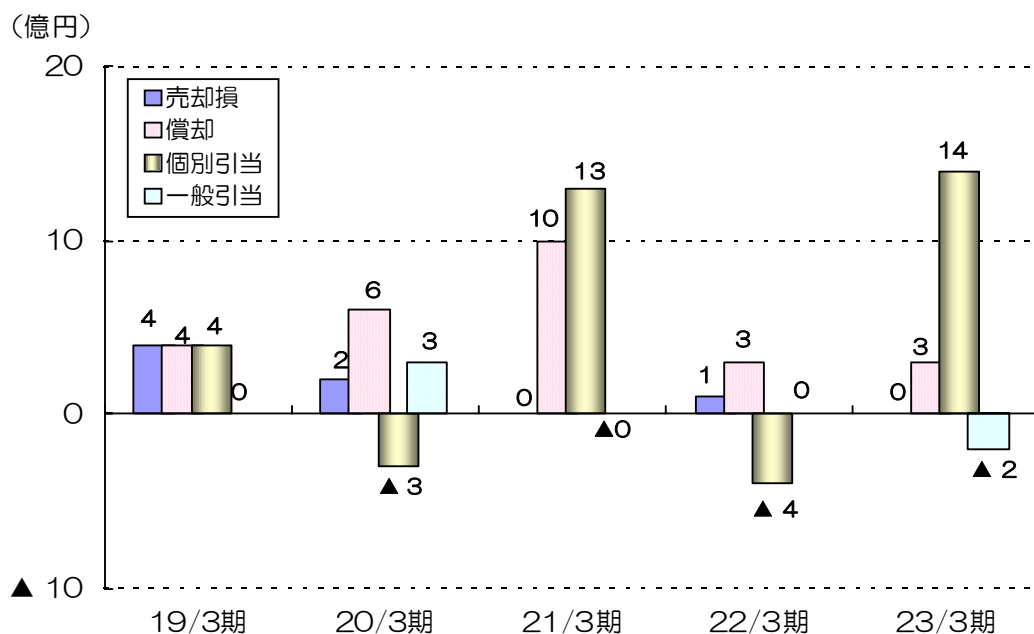
(単位：百万円)

	22/3 期	23/3 期	
		実績	前年比
与信費用	103	1,554	1,451
一般貸倒引当金繰入額	88	△226	△314
不良債権処理額	14	1,780	1,765
個別貸倒引当金繰入額	△472	1,498	1,970
信託元本補填引当金繰入額	△41	△79	△38
貸出金償却	365	362	△2
債権売却損	163	-	△163

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 与信費用とは、貸出金等の債権保全に係る費用（一般貸倒引当金繰入額と不良債権処理額の合計）を指します。

与信費用の推移



(2) 開示債権(前年度比較)

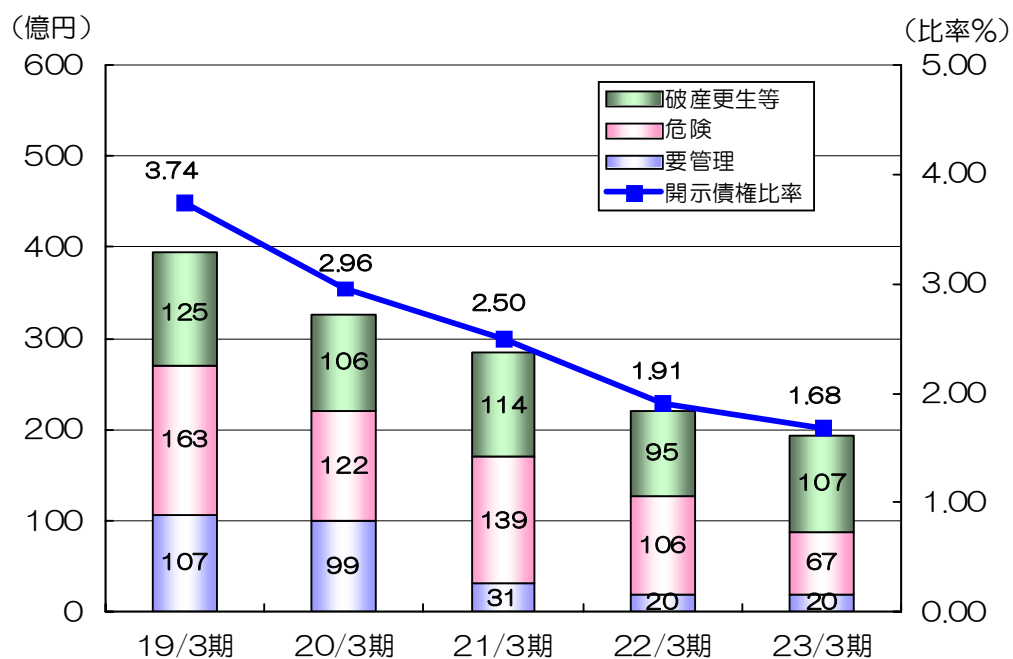
取引先の経営改善支援による債務者区分のランクアップ等に努めた結果、開示債権は前年比 26 億円減少の 196 億円となり、開示債権比率は前年比 0.23 ポイント低下の 1.68%となりました。

(単位：億円、%)

	22/3 期	23/3 期		
		実績	部分直接償却 控除前	前年比
開示債権(a)	222	196	220	△26
破産更生債権等	95	107	131	11
危険債権	106	67	67	△38
要管理債権	20	20	20	0
正常債権	11,409	11,430	11,430	21
総与信額(b)	11,632	11,626	11,650	△5
開示債権比率 a/b	1.91	1.68	1.89	△0.23

※信託勘定を含しております。

開示債権(単体)の推移



5. 自己資本比率(国内基準)の状況

➤ 自己資本額(前年度末比較、単体)

自己資本額は内部留保の積み上げにより、前年比 30 億円増加の 1,067 億円となりました。

➤ 自己資本比率(前年度末比較、単体)

自己資本比率は前年比 0.34 ポイント上昇の 12.73%となりました。

【自己資本比率の推移】

(単位：億円、%)

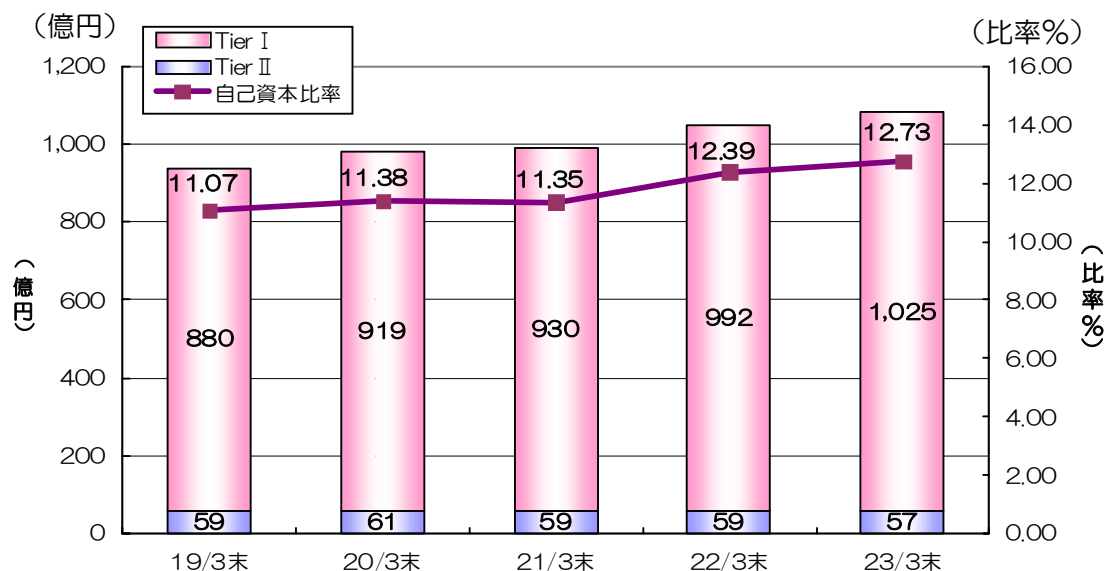
	単 体			連 結		
	22/3 末	23/3 末		22/3 末	23/3 末	
		実績	前年比		実績	前年比
自己資本額(a)	1,036	1,067	30	1,098	1,144	45
TIER I (b)	992	1,025	32	1,048	1,093	45
TIER II	59	57	△2	65	65	0
控除項目	15	15	-	15	15	-
リスクアセット(c)	8,362	8,379	16	8,603	8,641	38
自己資本比率 a/c	12.39	12.73	0.34	12.76	13.24	0.48
TIER I 比率 b/c	11.86	12.23	0.37	12.18	12.65	0.47

TIER I：資本金や準備金、任意積立金等の正味の自己資本

TIER II：貸倒引当金など、広い意味で自己資本と見なされる補完的資本

リスクアセット：資産の各項目に対して、法令により定められた掛け目（リスクウェイト）を乗じた額

自己資本比率(単体)の推移



6. 業績予想

➤ 経常収益

国債等債券売却益や株式等売却益の減少により、経常収益は前年比 45 億円減少の 358 億円を見込んでおります。

➤ 業務純益

国債等債券損益の減少に加え、一般貸倒引当金繰入額や経費が増加することを見込んでいることから、業務純益は前年比 21 億円減少の 99 億円を見込んでおります。

➤ 経常利益

不良債権処理額の減少及び株式等関係損益の改善を見込んでいるものの、業務純益の減少により、経常利益は前年比 10 億円減少の 85 億円を見込んでおります。

➤ 当期純利益

当期純利益は、特別損失の反動減や法人税の減少等により、ほぼ前年並みの 51 億円を見込んでおります。

【単体】

(単位：億円)

	23/9 期 予想	24/3 期	
		予想	前年比
経常収益	179	358	△45
コア業務純益	46	101	△0
業務純益	46	99	△21
経常利益	39	85	△10
当期純利益（中間）	23	51	0
不良債権処理額	7	15	△2

※不良債権処理額は、信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位：億円)

	23/9 期 予想	24/3 期	
		予想	前年比
経常収益	245	489	△53
経常利益	43	95	△17
当期純利益	25	54	△4

※23年度の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報、及び将来の業績に与える不確実な要因に係る仮定を前提としています。よって、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【不良債権（金融再生法基準）】

	23/9 期予想		24/3 期予想	
	単体	連結	単体	連結
開示債権比率	1%台	1%台	1%台	1%台

【自己資本比率】

	23/9 期予想		24/3 期予想	
	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	12%台	13%台	13%台	13%台
Tier1 比率	12%台	12%台	12%台	12%台

Ⅱ. 平成22年度決算の概況

1. 損益状況

【単体】

(単位:百万円)

		平成23年3月期	平成22年3月期比	平成22年3月期
業	務 粗 利 益	30,367	△1,036	31,404
	国 内 業 務 粗 利 益	29,666	△1,191	30,858
	資 金 利 益	26,262	△1,085	27,347
	役 務 取 引 等 利 益	1,706	192	1,513
	そ の 他 業 務 利 益	1,698	△297	1,996
	国 際 業 務 粗 利 益	700	154	546
	資 金 利 益	421	166	255
	役 務 取 引 等 利 益	55	△0	56
	そ の 他 業 務 利 益	222	△11	233
経	費 (除く臨時処理分)	18,582	522	18,059
	人 件 費	9,161	214	8,947
	物 件 費	8,484	361	8,122
	税 金	936	△53	990
業	務 純 益 (一般貸倒繰入前)	11,785	△1,559	13,344
	除く 国債等債券損益(5勘定戻)	10,069	△1,278	11,347
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額		△226	△226	-
業	務 純 益	12,011	△1,333	13,344
	うち 国債等債券損益(5勘定戻)	1,715	△280	1,996
臨	時 損 益	△2,491	△2,476	△14
	うち 株 式 等 損 益 (3勘定戻)	△397	△608	210
	う ち 不 良 債 権 処 理 額	1,806 (1,860)	1,277 (1,331)	528 (528)
	個別貸倒引当金純繰入額	1,498	1,498	-
	貸 出 金 償 却	308 (362)	△56 (△2)	365 (365)
	債 権 売 却 損	- (-)	△163 (△163)	163 (163)
経	常 利 益	9,519	△3,809	13,329
特	別 損 益	△55	△577	521
	う ち 固 定 資 産 処 分 損 益	△42	77	△120
	う ち 償 却 債 権 取 立 益	128	△107	236
	う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益	-	△384	384
	うち信託元本補填引当金戻入益	79	38	41
	うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	221	221	-
税 引 前 当 期 純 利 益		9,464	△4,386	13,851
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税		4,526	△294	4,820
法 人 税 等 調 整 額		△112	△547	434
当 期 純 利 益		5,050	△3,544	8,595

(注) 1. () 書きは信託勘定を含んでおります。

2. 不良債権処理総額については、決算説明資料6ページ「4. (1) 与信費用 (前年度比較)」に記載しております。

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(単位:百万円)

					平成23年3月期	平成22年3月期比	平成22年3月期
連 結	粗 利 益				33,963	△1,428	35,392
	資 金 利 益				27,421	△933	28,354
	信 託 報 酬				326	5	321
	役 務 取 引 等 利 益				2,229	△44	2,274
	そ の 他 業 務 利 益				3,986	△456	4,442
営 業 経 費					19,910	240	19,670
貸 倒 償 却 引 当 費 用					1,937	778	1,159
	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額				△345	△345	-
	個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額				1,307	1,307	-
	貸 出 金 償 却				921	△73	995
	債 権 売 却 損				54	△109	163
株 式 等 関 係 損 益					△397	△599	201
そ の 他					△514	△768	254
経 常 利 益					11,203	△3,815	15,019
特 別 損 益					△23	△744	720
	う ち 貸 倒 引 当 金 戻 入 益				-	△488	488
	う ち 償 却 債 権 取 立 益				165	△185	350
	うち資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額				221	221	-
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益					11,180	△4,559	15,739
法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税					4,998	△400	5,399
法 人 税 等 調 整 額					△167	△570	403
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益					6,348		
少 数 株 主 利 益					514	144	369
当 期 純 利 益					5,833	△3,733	9,567

(注) 連結粗利益＝資金利益＋金銭の信託運用見合費用[金銭の信託取得に係る資金調達費用]＋信託報酬＋役務取引等利益＋その他業務利益

(参考)

(単位:百万円)

連 結 業 務 純 益	14,457	△1,349	15,807
-------------	--------	--------	--------

(注) 連結粗利益－営業経費(除く臨時処理分)－一般貸倒引当金繰入額

(連結対象会社数)

(社)

連 結 子 会 社 数	20	△4	24
持 分 法 適 用 会 社 数	0	0	0

2. 業 務 純 益【単体】

(単位:百万円)

	23年3月期	22年3月期比	22年3月期
業 務 純 益 (一般貸倒繰入前)	11,785	△1,559	13,344
職員一人当たり (千円)	10,993	△1,477	12,471
業 務 純 益	12,011	△1,333	13,344
職員一人当たり (千円)	11,204	△1,266	12,471

(注) 職員数は期中平均人員(出向者除く)を使用しております。

3. 利 鞘【単体】

(1) 総合

(単位:%)

	23年3月期	22年3月期比	22年3月期
資 金 運 用 利 回 (A)	2.00	△0.17	2.17
貸 出 金 利 回	2.51	△0.02	2.53
有価証券利回	0.88	△0.24	1.12
資 金 調 達 原 価 (B)	1.55	△0.04	1.59
預 金 等 利 回	0.30	0.02	0.28
外 部 負 債 利 回	0.11	△1.83	1.94
総 資 金 利 鞘 (A)-(B)	0.45	△0.13	0.58

(注) 「外部負債」=コールマネー+借入金

(2) 国内部門

(単位:%)

	23年3月期	22年3月期比	22年3月期
資 金 運 用 利 回 (A)	1.99	△0.18	2.17
貸 出 金 利 回	2.51	△0.02	2.53
有価証券利回	0.82	△0.27	1.09
資 金 調 達 原 価 (B)	1.50	△0.04	1.54
預 金 等 利 回	0.29	0.02	0.27
外 部 負 債 利 回	0.11	△1.83	1.94
総 資 金 利 鞘 (A)-(B)	0.49	△0.14	0.63

(注) 「外部負債」=コールマネー+借入金

4. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

		23年3月期	22年3月期比	22年3月期
国債等債券損益(5勘定戻)		1,715	△280	1,996
	売却益	3,102	992	2,109
	償還益	-	-	-
	売却損	1,386	1,273	113
	償還損	-	-	-
	償却	-	-	-
株式等損益(3勘定戻)		△397	△608	210
	売却益	998	47	950
	売却損	739	229	510
	償却	655	426	229

5. 自己資本比率

(1) 自己資本比率(国内基準)【単体】

(単位:百万円,%)

		23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
(1) 自己資本比率		12.73	0.34	△0.07	12.39	12.80
(2) Tier I		102,513	3,261	1,397	99,252	101,115
(3) Tier II		5,747	△226	8	5,973	5,739
	(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	1,179	-	-	1,179	1,179
	(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	-	-	-	-	-
(4) 控除項目		1,542	-	-	1,542	1,542
	(他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額)	1,542	-	-	1,542	1,542
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)		106,718	3,034	1,406	103,683	105,311
(6) リスクアセット		837,963	1,671	15,400	836,292	822,562

(2) 自己資本比率(国内基準)【連結】

(単位:百万円,%)

	23年3月末			22年3月末	22年9月末
		22年3月末比	22年9月末比		
(1) 自己資本比率	13.24	0.48	0.03	12.76	13.21
(2) Tier I	109,392	4,552	2,213	104,840	107,178
(3) Tier II	6,580	23	96	6,556	6,484
(イ)うち自己資本に計上された再評価差額	1,179	-	-	1,179	1,179
(ロ)うち劣後ローン(債券)残高	-	-	-	-	-
(4) 控除項目	1,542	-	-	1,542	1,542
(他の金融機関の資本調達手段の意図的な保有相当額)	1,542	-	-	1,542	1,542
(5) 自己資本 (2)+(3)-(4)	114,429	4,575	2,310	109,853	112,119
(6) リスクアセット	864,128	3,826	15,407	860,301	848,721

6. ROE【単体】

(単位:%)

	23年3月期	22年3月期比	22年3月期
業務純益ベース	11.27	△2.00	13.27
コア業務純益ベース	9.49	△1.80	11.29
当期純利益ベース	4.73	△3.82	8.55

(算式)
$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首純資産の部} + \text{期末純資産の部}) \div 2} \times 100$$

※ コア業務純益＝業務純益－債券5 勘定戻し－一般貸倒引当金繰入額＋信託勘定償却額等

(参考)

ROE(株主資本ベース)【単体】

(単位:%)

	23年3月期	22年3月期比	22年3月期
業務純益ベース	11.82	△1.96	13.78
コア業務純益ベース	9.96	△1.76	11.72
当期純利益ベース	4.97	△3.91	8.88

(算式)
$$\frac{\text{業務純益(コア業務純益、当期純利益)}}{(\text{期首株主資本} + \text{期末株主資本}) \div 2} \times 100$$

Ⅲ. 貸出金等の状況

1. リスク管理債権の状況

部分直接償却実施（前・**後**）
未収利息不計上基準(自己査定基準)

【単体】

(単位:百万円)

		23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,866	71	79	1,795	1,787
	延滞債権額	15,623	△2,217	△1,290	17,841	16,914
	3ヶ月以上延滞債権額	701	17	237	683	464
	貸出条件緩和債権額	1,389	△6	△37	1,396	1,427
	合 計	19,581	△2,135	△1,012	21,717	20,594

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸 出 金 残 高（末 残）	1,149,328	835	27,945	1,148,492	1,121,382
----------------	-----------	-----	--------	-----------	-----------

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.16	0.01	0.01	0.15	0.15
	延滞債権	1.35	△0.20	△0.15	1.55	1.50
	3ヶ月以上延滞債権	0.06	0.01	0.02	0.05	0.04
	貸出条件緩和債権	0.12	-	-	0.12	0.12
	合 計	1.70	△0.19	△0.13	1.89	1.83

(注) 信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円)

		23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
リスク管理債権	破綻先債権額	1,906	△12	82	1,918	1,823
	延滞債権額	16,722	△2,204	△1,217	18,926	17,939
	3ヶ月以上延滞債権額	701	17	237	683	464
	貸出条件緩和債権額	1,389	△6	△37	1,396	1,427
	合 計	20,719	△2,205	△935	22,925	21,654

(注) 信託勘定を含んでおります。

貸 出 金 残 高（末 残）	1,141,478	5,709	29,286	1,135,768	1,112,192
----------------	-----------	-------	--------	-----------	-----------

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

貸出金残高比	破綻先債権	0.16	-	-	0.16	0.16
	延滞債権	1.46	△0.20	△0.15	1.66	1.61
	3ヶ月以上延滞債権	0.06	-	0.02	0.06	0.04
	貸出条件緩和債権	0.12	-	-	0.12	0.12
	合 計	1.81	△0.20	△0.13	2.01	1.94

(注) 信託勘定を含んでおります。

2. 貸倒引当金等の状況

【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
貸倒引当金	9,338	406	749	8,932	8,588
一般貸倒引当金	4,568	△226	8	4,794	4,559
個別貸倒引当金	4,770	632	741	4,138	4,029
信託元本補填引当金	153	△79	△33	233	187

【連結】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
貸倒引当金	13,518	△184	337	13,703	13,181
一般貸倒引当金	5,952	△345	△83	6,298	6,035
個別貸倒引当金	7,566	161	420	7,404	7,145
信託元本補填引当金	153	△79	△33	233	187

3. リスク管理債権に対する保全状況

【単体】

(単位:百万円,%)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
リスク管理債権額 (A)	19,581	△2,135	△1,012	21,717	20,594
保 全 額	16,631	△1,279	△518	17,910	17,149
貸倒引当金 (B)	5,037	688	721	4,349	4,316
担保・保証等 (C)	11,594	△1,967	△1,239	13,561	12,833
保 全 率 (B+C) / (A)	84.93	2.46	1.66	82.47	83.27
貸倒引当金 (B/A)	25.72	5.70	4.77	20.02	20.95
担保・保証等 (C/A)	59.20	△3.24	△3.11	62.44	62.31

(注) 信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円,%)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
リスク管理債権額 (A)	20,719	△2,205	△935	22,925	21,654
保 全 額	17,721	△1,350	△451	19,072	18,173
貸倒引当金 (B)	5,748	633	718	5,115	5,029
担保・保証等 (C)	11,973	△1,984	△1,170	13,957	13,143
保 全 率 (B+C) / (A)	85.53	2.34	1.61	83.19	83.92
貸倒引当金 (B/A)	27.74	5.43	4.52	22.31	23.22
担保・保証等 (C/A)	57.78	△3.10	△2.91	60.88	60.69

(注) 信託勘定を含んでおります。

4. 金融再生法開示債権

部分直接償却の実施 (有・無)

【単体】

(単位:百万円,%)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	10,776	1,193	1,717	9,582	9,059
危険債権	6,755	△3,845	△2,929	10,601	9,685
要管理債権	2,091	10	199	2,080	1,892
合 計 (A)	19,623	△2,641	△1,013	22,265	20,636
正常債権	1,143,045	2,109	28,482	1,140,936	1,114,563
総与信残高 (B)	1,162,668	△532	27,468	1,163,201	1,135,199
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.68	△0.23	△0.13	1.91	1.81
部分直接償却額	2,411	739	327	1,672	2,084

(注) 信託勘定を含んでおります。

【連結】

(単位:百万円,%)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	11,832	1,130	1,793	10,702	10,039
危険債権	6,837	△3,852	△2,928	10,689	9,765
要管理債権	2,091	10	199	2,080	1,892
合 計 (A)	20,761	△2,711	△936	23,472	21,697
正常債権	1,134,085	7,046	29,742	1,127,039	1,104,343
総与信残高 (B)	1,154,846	4,335	28,806	1,150,511	1,126,040
総与信残高に占める割合 (A)/(B)	1.79	△0.25	△0.13	2.04	1.92
部分直接償却額	3,707	489	206	3,218	3,501

(注) 信託勘定を含んでおります。

5. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
保 全 額 (C)	16,671	△1,469	△515	18,140	17,187
貸倒引当金	5,044	557	719	4,487	4,324
担保保証等	11,627	△2,026	△1,235	13,653	12,862

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保 全 率 (C) / (A)	84.95	3.48	1.67	81.47	83.28
-----------------	-------	------	------	-------	-------

【連結】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
保 全 額 (C)	17,761	△1,540	△449	19,302	18,210
貸倒引当金	5,755	501	717	5,253	5,037
担保保証等	12,006	△2,042	△1,166	14,049	13,173

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:%)

保 全 率 (C) / (A)	85.55	3.32	1.62	82.23	83.93
-----------------	-------	------	------	-------	-------

6. 金融再生法開示基準並びに自己査定債務者区分による引当率、保全率の状況

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【単体】

(単位:百万円, %)

	23年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総 与 信 額 (A)	10,776	6,755	2,091	19,623
担保等の保全額 (B)	6,699	3,662	1,265	11,627
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	4,076	3,093	826	7,996
引 当 額 (D)	4,076	808	158	5,044
引 当 率 (D)/(C)	100.00	26.14	19.24	63.08
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	66.18	68.09	84.95

(注) 信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【単体】

(単位:百万円, %)

	23年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総 与 信 額 (A)	1,872	8,904	6,755	17,532
担保等の保全額 (B)	1,403	5,296	3,662	10,362
未 保 全 額 (C) = [(A)-(B)]	468	3,608	3,093	7,170
引 当 額 (D)	468	3,608	808	4,885
引 当 率 (D)/(C)	100.00	100.00	26.14	68.13
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	100.00	66.18	86.96

(注) 信託勘定を含んでおります。

・金融再生法区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円, %)

	23年3月末			
	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権	危険債権	要管理債権	合 計
総 与 信 額 (A)	11,832	6,837	2,091	20,761
担保等の保全額 (B)	7,078	3,662	1,265	12,006
未保全額 (C) = [(A)-(B)]	4,753	3,174	826	8,754
引 当 額 (D)	4,753	842	158	5,755
引 当 率 (D)/(C)	100.00	26.54	19.24	65.74
保 全 率 [(B)+(D)]/(A)	100.00	65.89	68.09	85.55

(注) 信託勘定を含んでおります。

・自己査定債務者区分による引当率・保全率の状況【連結】

(単位:百万円,%)

	23年3月末			
	破綻先債権	実質破綻先債権	破綻懸念先債権	合 計
総 与 信 額 (A)	1,911	9,921	6,837	18,669
担保等の保全額 (B)	1,417	5,661	3,662	10,741
未保全額 (C) = [(A) - (B)]	493	4,260	3,174	7,928
引 当 額 (D)	493	4,260	842	5,596
引 当 率 (D) / (C)	100.00	100.00	26.54	70.58
保 全 率 [(B) + (D)] / (A)	100.00	100.00	65.89	87.50

(注) 信託勘定を含んでおります。

7. 自己査定結果及び債権分類(率)の状況【単体】

(単位:百万円,%)

		23年3月末		22年3月末	
		金 額	構成比率	金 額	構成比率
総 与 信 残 高		1,162,668	100.00	1,163,201	100.00
非 分 類 額		1,028,547	88.46	1,038,433	89.27
分 類 額 合 計		134,121	11.53	124,767	10.72
	Ⅱ 分 類	131,916	11.34	121,130	10.41
	Ⅲ 分 類	2,205	0.18	3,637	0.31
	Ⅳ 分 類	-	-	-	-

(注) 総与信残高……………貸付有価証券、貸出金、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返

分類額は個別貸倒引当金控除後の残高であります。

非分類……………Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しない資産で、回収の危険性又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。

Ⅱ分類……………回収について通常の度合を超える危険を含むと認められる資産。

Ⅲ分類……………最終の回収又は価値について重大な懸念が存し、損失の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。

Ⅳ分類……………回収不可能又は無価値と判定される資産。

自 己 査 定 区 分		償 却 ・ 引 当 基 準
破 綻 先 債 権		担保・保証等で保全されていない債権額の100%を個別貸倒引当金として計上するか、又は直接償却する。
実 質 破 綻 先 債 権		
破 綻 懸 念 先 債 権		貸倒実績率に基づく予想損失率を乗じて算定した予想損失額に相当する額を、個別貸倒引当金として計上する。
要 管 理 先 債 権	一 般 先	対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後3年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上する。
	D C F 先	対象先の将来キャッシュフローの割引現在価値を見積り、当該額を対象債権残高から控除した金額を、一般貸倒引当金として計上する。
	D D S 先	当該債務者に対する金銭債権全体について、優先・劣後の関係を考慮せずに予想損失率を用いて計上する。又は、資本金劣後ローンの回収可能見込額をゼロと算定し、取得原価又は償却原価と同額を貸倒見積額として計上する。
そ の 他 要 注 意 先 債 権		対象債権残高に対し、貸倒実績率に基づく今後1年間の予想損失率を乗じて算定した予想損失額を、一般貸倒引当金として計上する。
正 常 先 債 権		

8. 自己査定結果と開示債権との関係【単体】

(単位:百万円)

自己査定結果(債務者区分別) 対 象: 総 与 信					金融再生法 開示債権	リスク 管理債権	引当金	保全率
債務者区分 (償却後)	分 類				対象: 総与信	対象: 貸出金		(引当率)
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類				
破 綻 先 1,872	引当・担保・保証 等による保全部分 658	1,213	全額 引当	償却 引当	破産更生債権 及びこれらに 準ずる債権 10,776 保全率: 100.00 %	破綻先債権 1,866 延滞債権 15,623	468 3,608	100.00 % 100.00 %
実質破綻先 8,904	引当・担保・保証 等による保全部分 5,378	3,526						
破綻懸念先 6,755	引当・担保・保証 等による保全部分 2,287	2,262	必要額 を引当 2,205		危険債権 6,755 保全率: 66.18 %		808	66.18 % (26.14)
要 注 意 先	要管理先 2,696	担保: 1,541 信用: 1,154 461	2,234	貸倒実績率に基 づく3年間の予 想損失額を引 当。資本的劣後 ローン(DDS)は 全額引当。	要管理債権 2,091 保全率: 68.09 %	3ヶ月以上 延滞債権 701 貸出条件 緩和債権 1,389	204	64.74 % (17.69)
	要管理先 以 外 の 要注意先 170,675	47,996	122,679		小計 19,623 全体の保全率 84.95 %	合計 19,581		
正 常 先 971,764	971,764			貸倒実績率に 基づく1年間の 予想損失額を 引当。	正常債権 1,143,045		300	
合 計 1,162,668	1,028,547	131,916	2,205	-	1,162,668	1,149,328	9,475	84.00 % (61.13)

(注) 信託勘定を含んでおります。

9. 業種別貸出の状況等

① 業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末			22年3月末	22年9月末
		22年3月末比	22年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	1,149,328	835	27,945	1,148,492	1,121,382
製 造 業	41,246	1,828	2,450	39,417	38,796
農 業 , 林 業	532	△202	△293	735	826
漁 業	567	△3	18	571	549
鉱業, 採石業, 砂利採取業	1,858	△528	△730	2,386	2,589
建 設 業	54,465	△1,534	3,072	55,999	51,393
電気・ガス・熱供給・水道業	4,050	△203	615	4,253	3,434
情 報 通 信 業	9,428	△502	123	9,931	9,304
運 輸 業 , 郵 便 業	15,727	△2,343	△1,254	18,070	16,981
卸 売 業 , 小 売 業	121,516	△5,397	△3,008	126,913	124,524
金 融 業 , 保 険 業	19,208	4,572	3,708	14,636	15,500
不動産業, 物品賃貸業	206,264	3,346	5,895	202,918	200,368
各 種 サ ー ビ ス 業	133,947	△11,319	△1,527	145,266	135,474
地 方 公 共 団 体	111,053	△5,400	4,384	116,453	106,668
そ の 他	429,460	18,524	14,491	410,936	414,969

(注) 信託勘定を含んでおります。

② 業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末			22年3月末	22年9月末
		22年3月末比	22年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	19,581	△2,135	△1,012	21,717	20,594
製 造 業	1,442	209	67	1,232	1,375
農 業 , 林 業	27	△7	△7	34	35
漁 業	43	△5	0	49	43
鉱業, 採石業, 砂利採取業	44	2	△2	41	47
建 設 業	3,213	727	247	2,486	2,965
情 報 通 信 業	353	223	270	129	82
運 輸 業 , 郵 便 業	640	△220	△56	861	697
卸 売 業 , 小 売 業	3,053	△1,017	△474	4,071	3,528
金 融 業 , 保 険 業	1	1	0	-	1
不動産業, 物品賃貸業	2,952	△130	92	3,082	2,860
各 種 サ ー ビ ス 業	2,612	△235	△315	2,848	2,928
そ の 他	5,196	△1,683	△832	6,880	6,029

(注) 信託勘定を含んでおります。

③ 卸売・小売、建設、不動産、その他金融向けの貸出残高、不良債権残高

(単位:百万円)

		リスク管理債権ベース				
		総貸出残高	3ヵ月以上 延滞先	貸出条件緩和先	延滞先	破綻先
卸売・小売業	平成22年3月末	126,913	9	117	3,793	150
	平成22年9月末	124,524	112	56	3,229	130
	平成23年3月末	121,516	62	37	2,742	211
建設業	平成22年3月末	55,999	33	7	2,163	281
	平成22年9月末	51,393	11	14	2,754	184
	平成23年3月末	54,465	90	413	2,643	65
不動産業	平成22年3月末	181,359	153	106	2,814	1
	平成22年9月末	180,858	17	100	2,661	77
	平成23年3月末	188,235	-	101	2,723	122
その他金融	平成22年3月末	11,004	-	-	-	-
	平成22年9月末	6,009	-	-	-	-
	平成23年3月末	5,600	-	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

(単位:百万円)

		金融再生法開示債権ベース			
		総与信残高	要管理債権	危険債権	破産更生債権
卸売・小売業	平成22年3月末	130,958	127	2,844	1,107
	平成22年9月末	128,418	168	2,660	706
	平成23年3月末	125,381	100	2,376	579
建設業	平成22年3月末	57,991	40	2,273	687
	平成22年9月末	52,953	26	1,868	1,085
	平成23年3月末	55,979	504	400	2,333
不動産業	平成22年3月末	183,828	260	973	1,843
	平成22年9月末	183,421	117	1,027	1,712
	平成23年3月末	190,686	101	336	2,510
その他金融	平成22年3月末	11,024	-	-	-
	平成22年9月末	6,075	-	-	-
	平成23年3月末	5,605	-	-	-

(注) 信託勘定を含んでおります。

④ 消費者ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年3月末比		22年3月末	22年9月末
		22年3月末比	22年9月末比		
消費者ローン残高	445,772 (447,873)	24,926 (24,565)	17,191 (17,038)	420,845 (423,308)	428,581 (430,835)
うち 住宅ローン残高	387,382 (388,360)	22,750 (22,475)	14,977 (14,842)	364,632 (365,885)	372,404 (373,518)
うち その他ローン残高	58,389 (59,512)	2,176 (2,090)	2,213 (2,195)	56,213 (57,422)	56,176 (57,316)

(注) ()書きは信託勘定を含んでおります。

⑤ 中小企業等貸出残高及び貸出比率【単体】

(単位:百万円、%)

	23年3月末	22年3月末比		22年3月末	22年9月末
		22年3月末比	22年9月末比		
中小企業等貸出残高	950,168 (958,212)	17,112 (15,386)	20,957 (20,240)	933,056 (942,825)	929,211 (937,971)
中小企業等貸出比率	83.26 (83.37)	1.32 (1.28)	△0.26 (△0.27)	81.94 (82.09)	83.52 (83.64)

(注) ()書きは信託勘定を含んでおります。

10. 信用保証協会保証付融資【単体】

(単位:百万円)

	23年3月末	22年9月末	22年3月末
信用保証協会保証付きの融資残高	93,109	92,866	97,835
うち 特別保証枠分	82	118	127

11. 系列ノンバンク向け融資残高【単体】

(単位:百万円)

23年3月末	22年9月末	22年3月末
12,273	14,069	18,008

12. 預金、貸出金の残高【単体】

(単位:百万円)

	23年3月期	22年3月期比		22年3月期	22年9月期
		22年3月期比	22年9月期比		
預 金(末残)	1,539,640 (1,592,809)	102,817 (128,927)	31,062 (52,414)	1,436,822 (1,463,882)	1,508,577 (1,540,394)
(平残)	1,477,660 (1,512,314)	98,985 (112,160)	15,283 (18,652)	1,378,675 (1,400,153)	1,462,376 (1,493,661)
貸出金(末残)	1,141,175 (1,149,328)	2,552 (835)	28,618 (27,945)	1,138,622 (1,148,492)	1,112,557 (1,121,382)
(平残)	1,100,280 (1,109,220)	△2,057 (△3,881)	2,309 (1,811)	1,102,337 (1,113,102)	1,097,970 (1,107,409)

(注) ()書きは信託勘定を含んでおります。

13. 個人、法人預金の種類別内訳(平残)【単体】

(単位:百万円)

種 類		23年3月期	22年3月期比	22年9月期比	22年3月期	22年9月期
個 人 預 金		972,432	70,591	22,254	901,841	950,178
	流 動 性 預 金	437,741	1,885	△360	435,856	438,102
	定 期 性 預 金	534,691	68,705	22,615	465,985	512,075
法 人 預 金		396,168	27,919	7,218	368,249	388,950
	流 動 性 預 金	222,072	△892	△2,307	222,965	224,379
	定 期 性 預 金	174,095	28,812	9,525	145,283	164,570

(注) 1. 信託勘定を含んでおります。

2. 法人預金には、公金預金及び金融機関預金は含んでおりません。

IV. 業 績 予 想 等

1. 平成23年度の業績予想【単体】

(単位:百万円)

	23年度予想	22年度実績
経 常 収 益	35,800	40,318
経 常 利 益	8,500	9,519
当 期 純 利 益	5,100	5,050
業 務 純 益	9,900	12,011
業 務 純 益 (一 般 貸 倒 繰 入 前)	9,900	11,785
除 く 国 債 等 債 券 損 益	10,000	10,069
貸 出 金 関 係 損 失	1,500	1,780

(注) 貸出金関係損失(不良債権処理額)には信託勘定を含んでおります。

○ 業務純益について【単体】

(単位:百万円)

	一般貸引繰入前		一般貸引繰入後	信託勘定償却前業務純益		
		除く債券損益		一般貸引繰入前	一般貸引繰入後	
				除く債券損益		
21年度	13,344	11,347	13,344	13,344	11,347	13,344
22年度中間期	7,260	5,191	7,494	7,260	5,191	7,494
22年度	11,785	10,069	12,011	11,838	10,123	12,065
23年度予想	9,900	10,000	9,900	10,000	10,100	10,000
23年度中間期予想	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600

2. 人員と店舗の状況【単体】

① 人員

(単位:人)

	23年3月末実績	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
在籍行員数	1,093	△4	△20	1,097	1,113

② 店舗

(単位:店舗)

	23年3月末実績	22年3月末比	22年9月末比	22年3月末	22年9月末
店 舗 数	64 (4)	0 (△1)	1 (0)	64 (5)	63 (4)

(注) 店舗数には出張所も含めております。() は出張所数です。

3. 保有株式について【単体】

(1) 保有株式

(単位:百万円)

	取得原価ベース	時価ベース	Tier I
平成22年3月末	23,266	26,343	-
平成22年9月末	18,284	18,790	-
平成23年3月末	18,962	19,612	-

(2) 減損処理について

(単位:百万円)

	株式等関係損益	うち 減損処理額
21年度	210	229
22年度	△397	655

4. 不良債権について【単体】

(1) 処理損失

(単位:百万円)

	①一般貸倒引当金 純繰入額	②不良債権処理額 (銀行勘定)	③不良債権処理額 (信託勘定)	総与信費用 ①+②+③
21年度	88	14	-	103
22年度	△226	1,726	53	1,554
22年度中間期	△234	624	-	389
23年度予想	0	1,417	100	1,517
23年度中間期予想	7	734	0	742

(注) ②=個別貸倒引当金、貸出金償却、債権売却損など臨時損益段階の合計

(2) 残高

(単位:百万円)

	自己査定				
	破綻・実質破綻先 ①	破綻懸念先 ②	破綻懸念先以下 ①+②	要注意先債権 ③	計 ①+②+③
平成22年3月末	9,582	10,601	20,184	159,128	179,313
平成22年9月末	9,059	9,685	18,744	162,976	181,720
平成23年3月末	10,776	6,755	17,532	173,371	190,903

	金融再生法基準	
	要管理債権 ④	計 ①+②+④
平成22年3月末	2,080	22,265
平成22年9月末	1,892	20,636
平成23年3月末	2,091	19,623

(注) 信託勘定を含んでおります。

(3) 最終処理と新規発生

a. 残高について

(単位:百万円)

	破産更生債権	危険債権	合 計
平成22年3月末	9,582	10,601	20,184
平成22年9月末	9,059	9,685	18,744
平成23年3月末	10,776	6,755	17,532
22/3→23/3新規増加	1,684	1,712	3,397
22/3→23/3オフバランス化	4,193	1,856	6,049
22/3→23/3増減	1,193	△3,845	△2,652
22/9→23/3新規増加	1,199	970	2,169
22/9→23/3オフバランス化	2,437	944	3,382
22/9→23/3増減	1,717	△2,929	△1,212

(注) 信託勘定を含んでおります。

b. オフバランス化の内訳

(単位:百万円)

	22年度実績	22年度中間期実績	21年度実績
清算型処理	-	-	-
再建型処理	-	-	-
再建型処理に伴う業況改善	-	-	-
債権流動化	0	-	7
R C C向け売却	-	-	-
直接償却	1,228	779	1,040
その他	4,821	3,233	10,848
回収・返済	2,936	1,935	4,382
業況改善	1,884	1,298	6,465
合 計	6,049	4,013	11,896

(4) 債務者区分ごとの引当額と引当率

		平成23年3月末	平成22年9月末	平成22年3月末
実質破綻・破綻先債権	無担保部分の	100.00 % 40 億円	100.00 % 26 億円	100.00 % 27 億円
破綻懸念先債権	無担保部分の	26.14 % 8 億円	32.69 % 14 億円	29.39 % 15 億円
要管理先債権	債権額の	7.58 % 2 億円	7.74 % 2 億円	7.45 % 2 億円
その他要注意先債権	債権額の	2.39 % 40 億円	2.49 % 39 億円	2.66 % 41 億円
正常先債権	債権額の	0.03 % 3 億円	0.04 % 3 億円	0.05 % 4 億円

(注) 平成23年3月末のその他要注意先債権における債務者のうち、資本金劣後ローン(DDS)への転換先については29億円を引当処理しております。

(5) 不良債権比率(金融再生法基準)

(単位: %)

	21年3月期	21年9月期	22年3月期	22年9月期	23年3月期	24年3月期 (予想)
単体ベース	2.50	1.97	1.91	1.81	1.68	1%台
連結ベース	2.65	2.10	2.04	1.92	1.79	1%台